

初版 序

『超実践マニュアル 医療情報』の第1回目の打合せが行われたのが2005年7月11日、名古屋においてでした。あれから約2年、ようやく出版の運びに至りました。まずはじめに、ここまで出版が遅れたことをお詫び申し上げます。

他のシリーズより巢立ちに時間がかかった分、その内容については、きわめて実践的で、ユニークで、まさに「医療情報システム」という怪物に取り組んでいる、あるいは立ち向かわんとしている読者諸氏の強い味方になるものと関係者一同確信しております。本シリーズの主旨であります「実践」はもとより、関係者も“はらはら”するような「本音」が随所に盛り込まれているのが本書最大の特徴です。

「医療情報システムの構築・運用」という怪物は、きれいごとでは対処できない相手であり、戦略・戦術に関する蓄積もないため、各地で惨敗や苦戦を強いられておりました。その状況を改善し自分たちが経験した同じ苦しみや悲しみを繰り返してほしくないという主旨で、各著者は忘れたい過去や貴重なノウハウを惜しげもなくさらけ出し、闘う術を読者諸氏と共有することを選んでくれました。とはいえ、この本は始まりであります。十分にお伝えできなかったこと、新しい考えや経験を加え、さらにこの本が豊かになり、読者諸氏、ひいては臨床現場のスタッフ、ベンダの開発者、SEの皆様にも少しでもお役に立てれば関係者一同このうえない喜びであります。

最後に、なかなか原稿が進まなくともいつも暖かく、ときには厳しく、われわれを支えてくださった医療科学社の齋藤聖之氏に深く感謝いたします。

2007年8月 吉日

株式会社システムエッジ 田中 雅人